

松伏二中 での マナビカタ

中一 国語

教科モットー
ことばを大切にし、
生涯学び続けるた
めの基礎的な力を
つけよう。



学び方の系統

3年
（話すこと）根拠を明らかにして、自分の考えを目的や場面に応じて、論理的に分かりやすく伝えることができる。
（聞くこと）発表をメモを取りながら、的確に聞き取ることができる。
（書くこと）広い範囲から材料を集め、自分の意見が相手に伝わるように根拠を明らかにして、論理の展開を工夫して書くことができる。
（読むこと）様々な種類の文章を読み、書き手の表現の仕方や文章の特徴に注意して読み取り、自分の表現に役立てることができる。

2年
（話すこと）根拠を明らかにして、自分の考えを目的や場面に応じて、分かりやすく伝えられる。
（聞くこと）発表をメモを取りながら、的確に聞き取ることができる。
（書くこと）広い範囲から材料を集め、自分の意見が相手に伝わるように根拠を明らかにして、書くことができる。
（読むこと）様々な種類の文章を読み、書き手の表現の仕方や文章の特徴に注意して読み取ることができる。

1年
（話すこと）自分の考えを目的や場面を意識して、分かりやすく伝えることができる。
（聞くこと）発表をメモを取りながら聞き取ることができる。
（書くこと）材料を集め、自分の考えや気持ちを明確にして、書くことができる。
（読むこと）、内容をとらえ、目的や必要に応じて、要約することができる。

教科のねらい

- 国語に対する関心をもち、進んで表現したり、伝えあおうとする。（関心・意欲・態度）
- 目的や場面に応じて、筋道を立てて話したり的確に聞き取れる。（話す・聞く能力）
- 必要な材料をもとにして、自分の考えをまとめ、相手や目的に応じて、適切に文章を書ける。（書く能力）
- 目的に応じて様々な種類の文章を読み、内容を的確に理解したり、進んで読書に親しめる。（読む能力）
- 表現と理解に役立てるための音声、語句、語彙、文法、漢字等について理解し、知識を身につける。文字を正しく速く書ける。（言語についての知識理解技能）

学年の学習内容

- 話すこと・聞くこと 自分の考えを目的や場面に応じて的確に話したり聞く活動。
- 書くこと 身近な生活や学習の中から課題を見つけ、自分の考えをまとめる活動。
- 読むこと 文章の構成や展開を正確にとらえ、様々な種類の文章の読み方を身につける。

評価

- 国語に対する関心をもち、進んで表現したり、伝えあおうとしているか。（関心・意欲・態度）
 - 目的や場面に応じて、筋道を立てて話したり的確に聞き取れているか。（話す・聞く能力）
 - 必要な材料をもとにして、自分の考えをまとめ、相手や目的に応じて、適切に文章を書けているか。（書く能力）
 - 目的に応じて様々な種類の文章を読み、内容を的確に理解したり、進んで読書に親しんでいるか。（読む能力）
 - 表現と理解に役立てるための音声、語句、語彙、文法、漢字等について理解し、知識を身につけているか。文字を正しく速く書けているか。（言語についての知識理解技能）
- 《授業態度・発表・ワークシート・ノート・定期テスト・小テスト等で評価します。》

言語活動

思考力・判断力・表現力等を育む教科の取組

- 発表をメモする。○スピーチメモを使い、スピーチする。○聞き取りテストを行う。
- 《心がけること》・キーワードで書く。
- ・話の中心部分と付加的な部分を正確に聞き取り、必要な情報を書く。

学習計画

学期	月	学習事項 こんなことを学びます	重要事項・ことば等	チェック
一学期	四月	「野原はうたう」詩 「にじの見える橋」物語 「話し言葉と書き言葉」言葉1	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちが伝わるような音読 ・人物の気持ちを表す表現 場面の展開 行動の描写 ・話し言葉と書き言葉の違い 	
	五月	「友達をみんなに紹介しよう 取材してスピーチで伝える」話す・聞く 「ダイコンは大きな根？」説明文 「楷書を書こう」毛筆・硬筆	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーチの話題選び、メモの作成、聞き取りの仕方 ・段落の役割（問題提起など） ・楷書の基本 硬筆作品の作成 	
	六月	「ちょっと立ち止まって」説明文 「わかりやすく説明しよう」書く 「漢字の組み立てと部首」漢字1 「はじめての詩」「詩四編」詩	<ul style="list-style-type: none"> ・段落と段落の関係、文章の構成 ・観点を決めて情報収集、整理 ・漢字の組み立てと部首 ・詩のイメージ、ひびき、リズム 	
	七月	「言葉を集めよう」言葉 「言葉のまとまりを考えよう」文法への扉1 「おいしい読書 読書紹介をする」読書活動 「雪とパイナップル」物語「江戸からのメッセージ」随筆	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちに合った豊かな言葉 ・言葉の単位 ・読書紹介の工夫 	
二学期	九月	「星の花が降るころに」物語 「大人になれなかった弟たちに……」物語 「指示する語句と接続する語句」言葉2	<ul style="list-style-type: none"> ・場面展開、情景描写、人物の気持ち、行動、作者の思い ・指示語、接続語の文中での働き 	
	十月	「項目を整理して伝えよう」書く 「シカの『落ち穂拾い』」記録 「いろは歌」古文・音読 「七夕に思う」古文・解説	<ul style="list-style-type: none"> ・伝える項目の立て方 ・事実と考えの読み分け ・古文の響きや調子 ・読み継がれた古典作品 	
	十一月	「蓬菜の玉の枝（竹取物語）」古文 「今に生きる言葉（故事成語）」漢文 「話題をとらえて話し合おう」話す・聞く 「だれが・何を・どうする？」文法への扉2	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣い、古語の意味 ・古文、漢文独特のリズム ・バズセッションの仕方 ・文節どうしの関係 	
	十二月	「書き初め」「行書を書こう」毛筆・硬筆 「調べたことを報告しよう（レポート）」書く 「漢字の音訓」漢字2	<ul style="list-style-type: none"> ・書き初め、行書の基本（筆づかいやバランス） ・情報の整理、構成の工夫 ・漢字の音と訓 	
三学期	一月	「流水とわたしたちの暮らし」説明文 「様々な表現」言葉3 「感じたことを文章にしよう 鑑賞文を書く」書く	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の中心、支えの部分の読み分け ・体言止め、倒置、比喩 ・鑑賞文を書くときの観点 	
	二月	「少年の日の思い出」小説 「単語の性質を見つけよう」文法の扉3 「言葉を探検する ポスターセッションをする」 書く・話す・聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・場面展開、情景描写、人物の描写、心情の移り変わり ・自立語、付属語、品詞 ・ポスターセッションの仕方 	
	三月	「漢字の成り立ち」漢字3 「木は旅が好き」詩 「漢字に親しもう」漢字まとめ 「書写を生活に活かす」毛筆・硬筆	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の分類（六書） ・詩の印象を考えた朗読の仕方 ・漢字の復習 ・書写のまとめ 	

ようこそ、国語の授業へ！

読むこと

様々な種類の文章を読みましょう。良書や新聞を読み、ことばの力をつけましょう。

また、筆者の主張に対する自分の考えを持ちましょう。

国語の授業は こう受けよう



話すこと・聞くこと

声の大きさや話す速さに気をつけて話しましょう。

また、相手の言葉をしっかりと聞き、考えを深めましょう。

メモをとる習慣をつけましょう。

書くこと

自分の考えが相手に正確に伝わるように、言葉や構成を考えて、文章を書きましょう。

**授業を受ける前
受けた後
これだけはやって
おこう！**

言語

意味が分からない語句が出てきた時は、必ず国語辞書で調べましょう。

古典や漢文など、昔の文章に親しみをもちましょう。

授業を受ける前

- 新出漢字や意味の分からない語句を調べておこう。
- 授業で扱う文章を先に一読しておこう。

授業を受けた後

- 授業で扱った教材をもう一度読み直そう。
- 授業内容を、教科書やノート、ワークシート等を使って、復習しよう。
- 説明文や物語文に対して自分の考えが浮かんだら、その都度ノート等にメモしておこう。
- 文章を書くときに、授業で学んだ語句を使うようにしよう。

授業に持ってくるもの

- 教科書
- ノート
- ファイル
- 国語便覧
- 書道道具
- ワーク等

各授業で評価に係わる大事な点

- 関心・意欲・態度
- 話す・聞く能力
- 書く能力
- 読む能力
- 言語文化（漢字・文法・書写・古典等）